

「我が国の製造業を支える溶接・接合技術はこれでよいのか」

～ 溶接技術・人材の現状と将来展開を考える ～

主 催：日本学術会議第19期人工物設計・生産研究連絡委員会 接合工学専門委員会（予定）

共 催：大阪大学接合科学研究所，電気学会，電子情報通信学会，土木学会，日本機械学会，日本金属学会，日本建築学会，日本工学教育協会，日本造船学会，日本鉄鋼協会，溶接学会

開催日時：平成17年4月26日（火）10:00～16:30

会 場：日本学術会議講堂

（〒106-8555 東京都港区六本木7-22-34）

（地下鉄千代田線「乃木坂」青山霊園方面出口徒歩1分）

開催趣旨：

溶接・接合技術が，世界に冠たる「モノづくり立国」日本の製造業を支えている重要な要素技術である。しかし，その重要性が産業経営に置いて十分認識されているだろうか？そして溶接・接合分野の技術・開発及び施工を支える人材が戦略的に育成されているだろうか？「溶接」「接合」の品質は大丈夫だろうか？など課題も多い。

溶接・接合を使うモノづくり分野の技術におけるこれらの問題点を掘り下げ，我が国の製造業を将来にわたり

継続的に発展させていくために，我が国における技術者・技能者育成体制，および溶接構造物の品質管理，性能保証体制の諸問題について考え，今後の学術発展や中核人材育成のあり方への提案につなげる。

プログラム：

1. ご挨拶：学術会議会員 大橋徹郎 10:00～10:05
2. 主旨説明・総司会 接合工学専門委員会委員長
豊田政男 大阪大学教授 10:05～10:15
3. 基調講演

(1) 我が国の製造業における溶接・接合技術の位置づけ，重要性について 10:15～12:30

- ①土木分野（橋梁中心）三木千壽 東京工業大学教授
- ②船舶分野 山下泰生 住友重機械マリンエンジニアリング㈱
- ③自動車分野 谷口哲夫 交通安全環境研究所
- ④建築分野 神戸地震から見た建築鉄骨溶接の実態
田淵基嗣 神戸大学教授

昼休み 12:30～13:30

(2) 溶接・接合分野における我が国の高等教育の現状と期待される人材像について 13:30～15:00

①溶接・接合における教育の現状と課題 池内建二
大阪大学接合科学研究所教授

②溶接・接合技術の技術・開発及び施工を支える人材像 藤盛紀明 清水建設㈱

③教育プログラムによる将来へ向けた展開
太田口和久 東京工業大学教授

4. パネルディスカッション：（司会＝豊田委員長）

15:00～16:30

テーマ「我が国の製造業を支える溶接・接合技術はこれでよいのか？」

パネリスト予定者：上記基調講演者に加え，濱野公男（(社)鉄骨建設業協会），島田 彌（三菱電機㈱），座古 勝（大阪大学教授），牛尾誠夫（(社)溶接学会会長，大阪大学名誉教授），宮田隆司（(社)日本溶接協会会長，名古屋大学教授），石田修一（㈱東芝）などを予定

定員：300名 参加無料，多数ご参加を歓迎いたします。
講演予稿集は，3,000円（予定）

参加申込方法：氏名，連絡先（所属機関名，住所，TEL，FAX，email アドレス），所属学協会名を記して，下記宛お申し込み下さい。

連絡先（参加申込先）：世話学会（社）溶接学会

〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町 1-11

TEL 03-3253-0488 FAX 03-3253-3059

e-mail jws-ms@t3.rim.or.jp

会場案内図：日本学術会議講堂

（〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34）

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34

TEL：03-3403-6291（代表）FAX：03-3403-6224

<http://www.scj.go.jp/ja/misc/contact/index.html>

